

令和6年度 四日市港管理組合 当初予算の概要

令和6年3月
四日市港管理組合



▶ I 当初予算の概要 P. 3
01 予算編成の考え方・予算の規模 P. 4
02 主な事業一覧 P. 6
03 主な事業及び予算額 P. 7
04 主な事業(公共事業分)の施工箇所図 P. 15
▶ II 当初予算資料 P.16
01 令和6年度当初予算 全会計 P.17
02 令和6年度当初予算 一般会計 P.18
03 令和6年度当初予算 港湾整備事業特別会計 P.20
04 令和6年度当初予算 公共事業 P.22
(参考) 一般会計と特別会計の区分(施設別イメージ) P.23

I 当初予算の概要

01 予算編成の考え方・予算の規模①

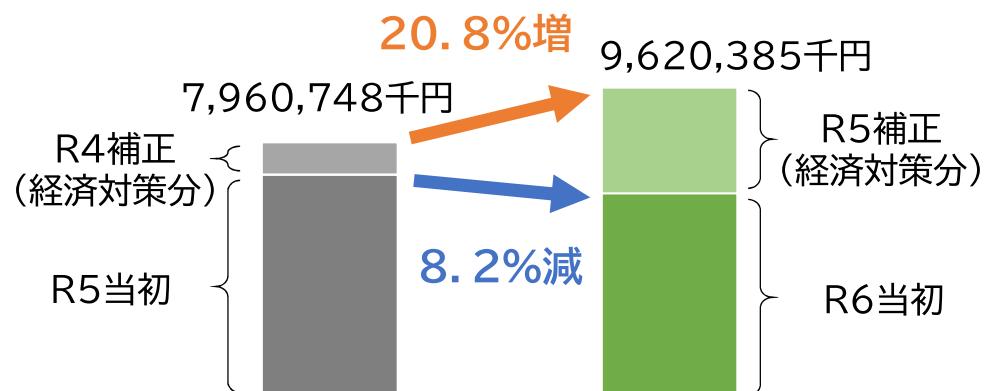
<予算編成の考え方>

- 四日市港管理組合では、令和5年度、昨今の四日市港を取り巻く情勢を踏まえて、概ね30年後を見据えた四日市港の将来像とその実現に向けた取組をまとめた新たな「四日市港長期構想」の策定を進めています。
- 令和6年度当初予算については、基本理念である「地域に貢献する、なくてはならない存在としての四日市港づくり」を目指し、現在策定中の新たな「四日市港長期構想」で示された将来像の実現に向けた取組を着実に推進していくよう編成しました。

<予算の規模>

一般会計	令和6年度当初予算額	64億 238万5千円 (対前年度比 8.2%減)
	[令和5年度補正予算(経済対策分)を含む	96億2,038万5千円 (対前年度比20.8%増)]
特別会計	令和6年度当初予算額	32億5,092万5千円 (対前年度比 33.6%減)

一般会計



港湾整備事業特別会計



01 予算編成の考え方・予算の規模②

<会計別予算額>

(単位:千円、%)

区分	令和5年度当初予算額 A	令和6年度当初予算額 B	増減額(B-A) C	増減率 C/A
[経済対策分を含む]※ 一般会計 (うち県市負担金)	[7,960,748] 6,971,748 (2,931,697)	[9,620,385] 6,402,385 (3,028,908)	[1,659,637] △ 569,363 (97,211)	[20.8] △ 8.2 (3.3)
港湾整備事業特別会計	4,899,226	3,250,925	△ 1,648,301	△ 33.6
合 計	11,870,974	9,653,310	△ 2,217,664	△ 18.7

※[]の額は、前年度の補正予算に計上した国の経済対策分(令和4年度989,000千円、令和5年度3,218,000千円)を含めた数値です。

<主な増減理由>

一般会計

令和6年度当初予算に要求していた霞ヶ浦地区北ふ頭81号耐震強化岸壁整備に係る国直轄事業負担金及び国補公共事業の一部について、令和5年11月に国の経済対策分の配分があったことを踏まえて、改めて令和6年度の所要見込額を精査した結果、公共事業が6億4,817万4千円減少することなどによるものです。

港湾整備事業特別会計

霞ヶ浦地区北ふ頭81号耐震強化岸壁背後の護岸築造が概ね完了したことから港湾施設改修費が16億5,960万円減少することなどによるものです。

02 主な事業一覧

(1) 背後圏産業の持続的な成長を支える港づくり(物流・産業への貢献)

① 国際拠点港湾としての機能の充実・強化

- 霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備

② 四日市港及びその背後圏の脱炭素化の促進

- 新 環境性能に優れた船舶へのインセンティブ制度
- 新 ひき船建造業務
- 港湾脱炭素化推進協議会運営経費
- 中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議負担金

③ 国内複合一貫輸送網の構築

- 一部新 荷主企業四日市港利用支援事業補助金
- 一部新 コンテナ船寄港誘致事業補助金
- 一部新 船会社集荷促進事業補助金
- 一部新 コンテナ定期航路に就航する船舶へのインセンティブ制度

④ 背後圏産業の動向を捉えた港湾サービスの提供

- 新 四日市港外貿コンテナ貨物流動等調査
- 新 ひき船建造業務【再掲】
- 新 ひき船運航管理業務委託

⑤ 臨港交通体系の充実・強化

- 新 四日市港臨港道路幹線に関する検討会運営経費

⑥ クルーズ船誘致による背後圏観光産業の振興

- 客船誘致及び受入関係経費

(2) 魅力にあふれ、人々が交流する港づくり(交流の創出)

① 親しまれる港づくり

- ポートビル展望展示室の運営等

② まちづくりと一体となって、賑わいを創出する港づくり

- 四日市地区千歳運河緑地護岸改修等
- 四日市みなとまちづくり協議会負担金
- 四日市港まつり実行委員会等負担金

(3) 住民・産業を守る港づくり(安全・安心の確保)

① 背後地を守る防災機能の充実・強化

- 新 石原・塩浜地区海岸保全施設整備
- 1号地地区海岸護岸整備
- 富田港地区海岸護岸整備

② 港湾施設の機能の維持・強靭化

- 東防波堤改良
- 霞ヶ浦地区南ふ頭27号岸壁改良

③ 港湾活動の安全性の確保

- 四日市港重要国際埠頭施設警備保安業務委託等
- 放置艇対策

④ 災害復旧・復興活動への対応

- 霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備【再掲】

(4) 自然とヒト・モノが共生する港づくり(環境の保全)

① 自然海浜・干潟、水環境の保全

- 環境保全対策(環境調査等)

② 良好な港湾空間の創出

- 四日市地区千歳運河緑地護岸改修等【再掲】

③ 地球にやさしい港づくり

- 環境保全対策(ブルーカーボン)
- 新 環境性能に優れた船舶へのインセンティブ制度【再掲】

(5) その他

- 四日市港港湾計画の改訂

03 主な事業及び予算額 – (1) 背後圏産業の持続的な成長を支える港づくり(物流・産業への貢献)

- 四日市港が、今後も引き続き、背後圏産業を物流面から支える国際拠点港湾としての役割を果たしていくためには、2050年カーボンニュートラルに向けた取組、港湾におけるDXやモーダルシフトの促進に向けた取組、臨港交通体系の強化に向けた取組など、四日市港を取り巻く社会情勢の変化に的確に対応していく必要があります。
- 背後圏産業を物流面から支える国際拠点港湾として、コンテナ船の大型化や増大する貨物量に対応するとともに、大規模災害時の物流機能を維持するため、霞ヶ浦地区国際物流ターミナルの整備を進めます。
- 新たに作成する「四日市港港湾脱炭素化推進計画」に基づき、環境に配慮した船舶の四日市港への寄港を促進するインセンティブ制度の導入やバイオディーゼル燃料の使用に対応したひき船の建造などに取り組むとともに、関係者が一体となって四日市港におけるカーボンニュートラルポート(以下、「CNP」という。)の形成を推進します。
- 四日市港を活用したモーダルシフトの促進に向けて、内航コンテナ定期航路の誘致や内貿コンテナ貨物を増加させるため、四日市港利用促進協議会を核とした官民連携によるポートセールスやインセンティブ制度の導入に取り組みます。
- 今後も港湾サービスを適切に提供するために外貿コンテナ貨物の流動実態調査や、老朽化が進むひき船の更新、ひき船運航業務の外部委託を実施するとともに、臨港交通体系の南北軸の強化に向けた臨港道路の計画に関する調査・検討や、背後圏の観光産業の振興に資するクルーズ船誘致に取り組みます。

① 国際拠点港湾としての機能の充実・強化

事業名	事業内容	予算科目	予算額
霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備 (A)霞ヶ浦地区北ふ頭81号耐震強化岸壁整備 (B)霞ヶ浦地区北ふ頭用地整備	物流の効率化や地域産業の競争力強化、サプライチェーンの強靭化、災害対応力の強化を図るため、霞ヶ浦地区北ふ頭81号耐震強化岸壁及び背後のふ頭用地整備を行います。	(A)一般会計 国直轄事業負担金 (B)特別会計 港湾施設改修費	【公共】 (A) 903,000千円 ① (B) 750,000千円 ②

(注)予算額の右の○数字は、P.15「主な事業(公共事業分)の施工箇所図」の○数字を示しています。

03 主な事業及び予算額 – (1) 背後圏産業の持続的な成長を支える港づくり(物流・産業への貢献)

② 四日市港及びその背後圏の脱炭素化の促進

事業名	事業内容	予算科目	予算額
新 環境性能に優れた船舶へのインセンティブ制度	環境に配慮した船舶の四日市港への寄港を促進し、温室効果ガスの一層の削減を図るため、一定の基準を満たす船舶の入港料を減免します。	一般会計 歳入・入港料	—
新 ひき船建造業務	老朽化の進むひき船「ちとせ丸」の更新にあたり、排出される温室効果ガスの低減を図るため、バイオディーゼル燃料の使用に対応した新造船を建造します。	特別会計 ひき船建造費	272,800千円
港湾脱炭素化推進協議会運営経費	令和5年度に作成する「四日市港港湾脱炭素化推進計画」の進捗を確認・評価し、四日市港におけるCNP形成の推進を図るため、四日市港港湾脱炭素化推進協議会を開催します。	一般会計 企画調査費・事務費	303千円
中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議負担金	中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議に参画し、中部圏における大規模な水素・アンモニアの社会実装を推進するため、関係団体と連携して取り組みます。	一般会計 企画調査費・事務費	250千円

③ 国内複合一貫輸送網の構築

事業名	事業内容	予算科目	予算額
一部新 荷主企業四日市港利用支援事業補助金	外貿コンテナ貨物を新たに取り扱う荷主企業及び取扱個数を一定以上増加させた荷主企業を支援します。また、補助金の対象に新たに内航コンテナ貨物を追加することで、四日市港への集荷拡大を図ります。	特別会計 ポートセールス事業費	70,000千円
一部新 コンテナ船寄港誘致事業補助金	新たに四日市港に寄港するコンテナ航路(基幹航路・アジア航路)を開設した船会社を支援します。また、補助金の対象に新たに内航コンテナ定期航路を追加することで、四日市港への定期航路の拡充を図ります。	特別会計 ポートセールス事業費	31,200千円
一部新 船会社集荷促進事業補助金	外貿コンテナ取扱個数を一定量以上増加させた船会社を支援します。また、補助金の対象に新たに内航コンテナ定期航路を追加することで、四日市港への定期航路の拡充を図ります。	特別会計 ポートセールス事業費	32,000千円
一部新 コンテナ定期航路に就航する船舶へのインセンティブ制度	入港料の減免対象に新たに内航コンテナ定期航路に就航する船舶を追加することで、四日市港への定期航路の拡充を図ります。	一般会計 歳入・入港料	—

03 主な事業及び予算額 – (1) 背後圏産業の持続的な成長を支える港づくり(物流・産業への貢献)



④ 背後圏産業の動向を捉えた港湾サービスの提供

事業名	事業内容	予算科目	予算額
新 四日市港外貿コンテナ貨物流動等調査	5年に1度実施する「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」の結果を踏まえて、四日市港における外貿コンテナ貨物の流動実態について調査を行います。	特別会計 政策推進基礎調査費	4,400千円
新 ひき船建造業務【再掲】	ひき船「ちとせ丸」の老朽化が進んでいるため、新造船を建造します。	特別会計 ひき船建造費	272,800千円
新 ひき船運航管理業務委託	四日市港のひき船サービス水準及び防災機能の維持向上を図るため、ひき船「ちとせ丸」の運航を委託します。	特別会計 ひき船「ちとせ丸」運営費	134,000千円

⑤ 臨港交通体系の充実・強化

事業名	事業内容	予算科目	予算額
新 四日市港臨港道路幹線に関する検討会運営経費	臨港道路の計画に関する課題等の調査・検討を行い、臨港交通体系の南北軸の強化を図るため、四日市港臨港道路幹線に関する検討会を開催します。	一般会計 企画調査費・事務費等	550千円

⑥ クルーズ船誘致による背後圏観光産業の振興

事業名	事業内容	予算科目	予算額
客船誘致及び受入関係経費	四日市港客船誘致協議会や、三重県クルーズ振興連携協議会に参画し、官民一体となって背後圏の観光産業の振興に資する客船の誘致に取り組むとともに、大型客船をはじめとする客船の受入環境の整備に取り組みます。	一般会計 イベント・交流事業費	1,395千円

03 主な事業及び予算額 – (2) 魅力にあふれ、人々が交流する港づくり(交流の創出)

- 霞ヶ浦地区等においては、県民・市民に四日市港への理解を深めていただくため、親しまれる港づくりに向けた取組を進める必要があります。
- ポートビルを拠点とした学習機会や交流機会を提供するとともに、展望展示室や緑地・公園の維持管理を適切に行います。
- 一方、四日市地区においては、千歳運河周辺のレトロな景観や物流との動線区分等にも配慮しつつ、遊休化・老朽化した港湾施設等の利用転換に向けた取組を進めるとともに、官民が参画する「四日市みなとまちづくりプラン(基本構想)」の取組や、四日市市が進めるJR四日市駅周辺の再開発等とも連携を図りながら、まちづくりと一体となって、賑わいを創出していく必要があります。
- 老朽化・遊休化した千歳運河沿いについて景観に配慮した護岸の整備を進めるとともに、四日市みなとまちづくり協議会が実施する事業や四日市港まつり等のイベントに取り組みます。

① 親しまれる港づくり

事業名	事業内容	予算科目	予算額
ポートビル展望展示室の運営等	展望展示室を社会見学や職場研修の場としても提供するとともに、クリスマスコンサートなどのイベントを実施します。 また、展望展示室の適切な運営及び展示施設の保守管理を行います。	一般会計 展望展示室運営事業費	10,727千円

② まちづくりと一体となって、賑わいを創出する港づくり

事業名	事業内容	予算科目	予算額
四日市地区千歳運河緑地護岸改修等	老朽化・遊休化した四日市地区千歳運河沿いについて、景観に配慮した護岸改修を進めます。	一般会計 社会資本総合整備事業費 単独港湾施設整備事業費	【公共】 400,000千円 ③
四日市みなとまちづくり協議会負担金	四日市みなとまちづくり協議会に参画し、官民一体となって四日市地区の賑わいづくりに取り組みます。	一般会計 企画調査費・事務費	3,500千円
四日市港まつり実行委員会等負担金	県民・市民に四日市港の魅力にふれていただく機会となるよう、多様な主体と連携して、四日市港まつりやまちあるきイベントを開催します。	一般会計 イベント・交流事業費	8,760千円

03 主な事業及び予算額 – (3) 住民・産業を守る港づくり(安全・安心の確保)



- 背後地の住民、企業及び港湾利用者等の安全・安心を確保するためには、南海トラフ地震等に備えた耐震・耐津波対策や防災体制の充実、物流セキュリティの強化、災害発生時の対応などの取組を着実に進めていく必要があります。
- 地震・津波・高潮等の自然災害への対策として、海岸保全施設や港湾施設の強靭化を進めるほか、計画的・効果的な維持管理や老朽化が進んだ施設の更新等を実施します。
- さらに、国際航海船舶への不審者、不審物の侵入等を防止するためのテロ対策等の保安対策に取り組むとともに、港内の航行安全性を確保するための放置艇対策や、災害発生時における物流機能の維持に取り組みます。

① 背後地を守る防災機能の充実・強化

事業名	事業内容	予算科目	予算額
新 石原・塩浜地区海岸保全施設整備	石原・塩浜地区において、高潮等による被害を防止するため、海岸保全施設の整備を行います。	一般会計 国直轄事業負担金	【公共】100,000千円 ④
1号地地区海岸護岸整備	1号地地区において高潮等による被害を防止するため、護岸の補強整備を行います。	一般会計 社会資本総合整備事業費	【公共】60,000千円 ⑤
富田港地区海岸護岸整備	富田港地区において高潮等による被害を防止するため、護岸の補強整備を行います。	一般会計 社会資本総合整備事業費	【公共】80,000千円 ⑥

② 港湾施設の機能の維持・強靭化

事業名	事業内容	予算科目	予算額
東防波堤改良	供用から60年以上が経過し、老朽化が進んでいる東防波堤の予防保全を行います。	一般会計 国直轄事業負担金	【公共】112,500千円 ⑦
霞ヶ浦地区南ふ頭27号岸壁改良	供用から40年以上が経過し、老朽化が進んでいる霞ヶ浦地区南ふ頭27号岸壁の予防保全を行います。	一般会計 国補港湾改修事業費	【公共】250,000千円 ⑧

03 主な事業及び予算額 – (3) 住民・産業を守る港づくり(安全・安心の確保)



③ 港湾活動の安全性の確保

事業名	事業内容	予算科目	予算額
四日市港重要国際埠頭施設警備保安業務委託等	港内の重要国際埠頭施設等への不審者や不審物等の侵入を防止し、港湾活動の安全性の向上を図るために、警備や保安設備の保全点検等を行います。	一般会計 改正SOLAS条約対策推進費	164,752千円
放置艇対策	沈廃船化等により、港内における船舶の航行障害や環境悪化をもたらす放置艇の発生を防止するための対策を推進します。	一般会計 放置艇対策推進費	5,011千円

④ 災害復旧・復興活動への対応

事業名	事業内容	予算科目	予算額
霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備 【再掲】 (A)霞ヶ浦地区北ふ頭81号耐震強化岸壁整備 (B)霞ヶ浦地区北ふ頭用地整備	物流の効率化や地域産業の競争力強化、サプライチェーンの強靭化、災害対応力の強化を図るために、霞ヶ浦地区北ふ頭81号耐震強化岸壁及び背後のふ頭用地整備を行います。	(A)一般会計 国直轄事業負担金 (B)特別会計 港湾施設改修費	【公共】 (A) 903,000千円 ① (B) 750,000千円 ②

03 主な事業及び予算額 – (4) 自然とヒト・モノが共生する港づくり(環境の保全)



- 四日市港に残された豊かな自然や歴史的・文化的資源を次世代へと継承するためには、自然海浜・干潟、水環境の保全や良好な港湾景観を維持していくとともに、地球温暖化の原因となっているCO₂等を削減し、港湾の脱炭素化を進めていく必要があります。
- 港内における環境調査の実施、千歳運河沿いについて景観に配慮した護岸の整備を進めるとともに、CO₂の吸収源対策としてブルーカーボンの取組や環境負荷の少ない船舶の四日市港への寄港を促進します。

① 自然海浜・干潟、水環境の保全

事業名	事業内容	予算科目	予算額
環境保全対策(環境調査等)	港内の水質等の状況を把握するための環境調査等を行います。	一般会計 環境調査推進費	6,106千円

② 良好な港湾空間の創出

事業名	事業内容	予算科目	予算額
四日市地区千歳運河緑地護岸改修等【再掲】	老朽化・遊休化した四日市地区千歳運河沿いについて、景観に配慮した護岸改修を進めます。	一般会計 社会資本総合整備事業費 単独港湾施設整備事業費	【公共】 400,000千円 ③

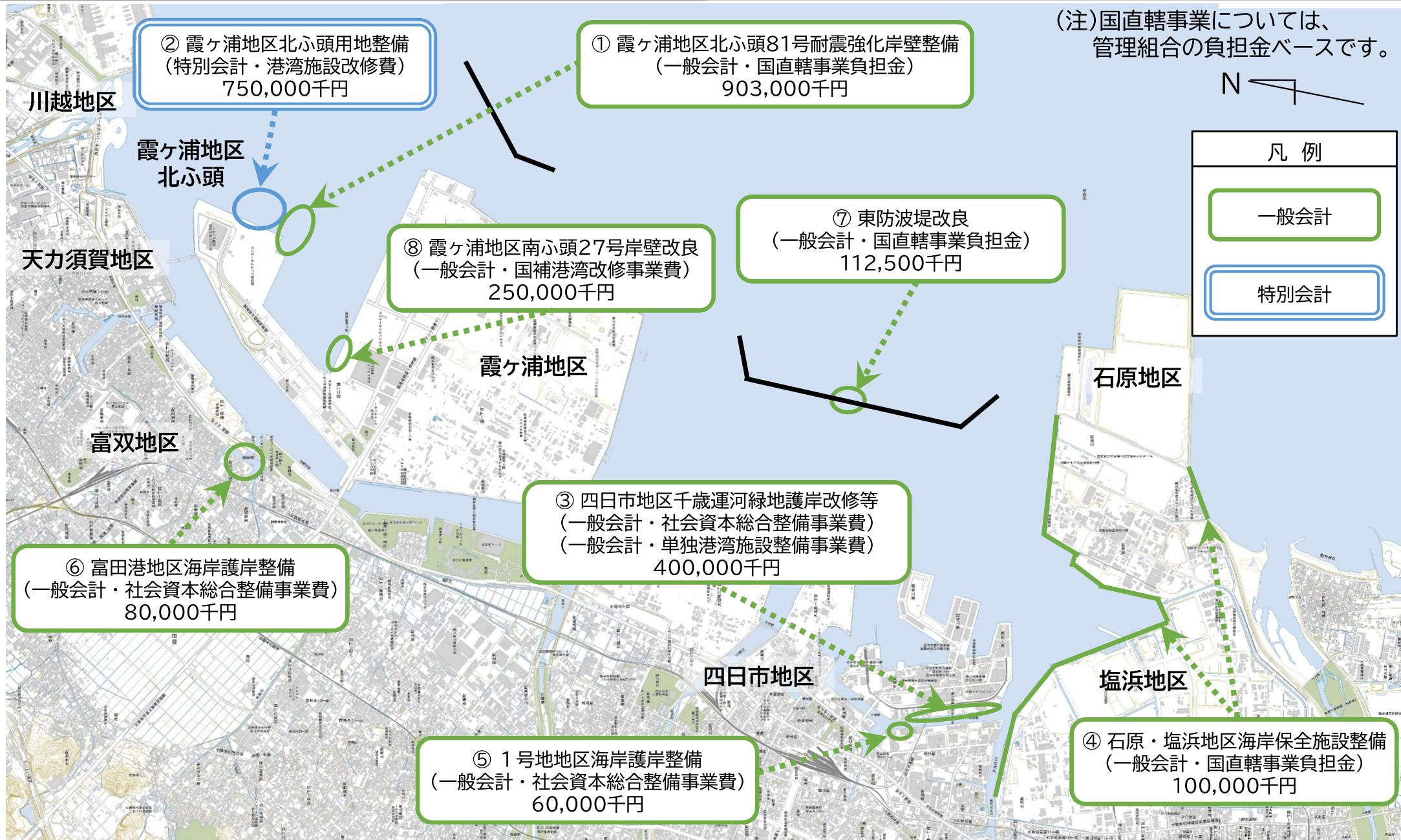
③ 地球にやさしい港づくり

事業名	事業内容	予算科目	予算額
環境保全対策(ブルーカーボン)	CO ₂ 吸収源を拡大させるため、藻場造成などブルーカーボンの活用について検証を行います。	一般会計 環境調査推進費	3,322千円
新 環境性能に優れた船舶へのインセンティブ制度【再掲】	環境に配慮した船舶の四日市港への寄港を促進し、温室効果ガスの一層の削減を図るため、一定の基準を満たす船舶の入港料を減免します。	一般会計 歳入・入港料	—

03 主な事業及び予算額 – (5) その他

その他			
事業名	事業内容	予算科目	予算額
四日市港港湾計画の改訂	新たに策定する四日市港長期構想の内容等を踏まえて、四日市港港湾計画の改訂を行います。	一般会計 四日市港港湾計画調査費	173,550千円

04 主な事業(公共事業分)の施工箇所図



II 当初予算資料

01 令和6年度当初予算 全会計

(単位:千円、%)

区分	令和5年度 当初予算額 A	令和6年度 当初予算額 B	増減額 (B-A) C	増減率 C/A
一般会計	[7,960,748] 6,971,748	[9,620,385] 6,402,385	[1,659,637] △ 569,363	[20.8] △ 8.2
港湾整備事業特別会計	4,899,226	3,250,925	△ 1,648,301	△ 33.6
合計	[12,859,974] 11,870,974	[12,871,310] 9,653,310	[11,336] △ 2,217,664	[0.1] △ 18.7

※[]の額は、前年度の補正予算に計上した国の経済対策分を含めた数値です。

02 令和6年度当初予算 一般会計①

【歳入】

(単位:千円、%)

科 目	令和5年度 当初予算額 A	令和6年度 当初予算額 B	増減額 (B-A) C	増減率 C/A
分担金・負担金	2,931,697	3,028,908	97,211	3.3
県 負 担 金	1,630,024	1,684,073	54,049	3.3
市 負 担 金	1,301,673	1,344,835	43,162	3.3
使用料・手数料	686,207	717,392	31,185	4.5
国 庫 支 出 金	322,000	295,000	△ 27,000	△ 8.4
県 支 出 金	24,134	24,134	0	0.0
財 産 収 入	10,881	10,881	0	0.0
繰 入 金	20,000	28,000	8,000	40.0
諸 収 入	22,029	32,670	10,641	48.3
組 合 債	2,954,800	2,265,400	△ 689,400	△ 23.3
計	6,971,748	6,402,385	△ 569,363	△ 8.2

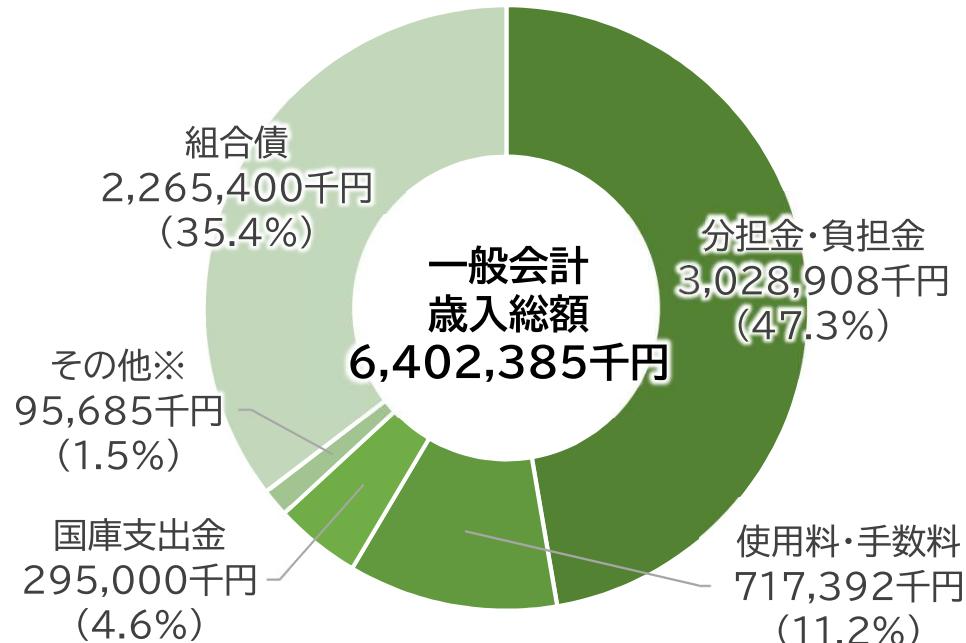
【歳出】

(単位:千円、%)

科 目	令和5年度 当初予算額 A	令和6年度 当初予算額 B	増減額 (B-A) C	増減率 C/A
議 会 費	17,866	20,403	2,537	14.2
総 務 費	945,246	1,053,601	108,355	11.5
港 湾 管 理 費	883,567	1,214,441	330,874	37.4
港 湾 建 設 費	2,910,630	2,008,380	△ 902,250	△ 31.0
災 害 復 旧 費	100,000	100,000	0	0.0
公 債 費	2,113,439	2,004,560	△ 108,879	△ 5.2
予 備 費	1,000	1,000	0	0.0
計	6,971,748	6,402,385	△ 569,363	△ 8.2

02 令和6年度当初予算 一般会計②

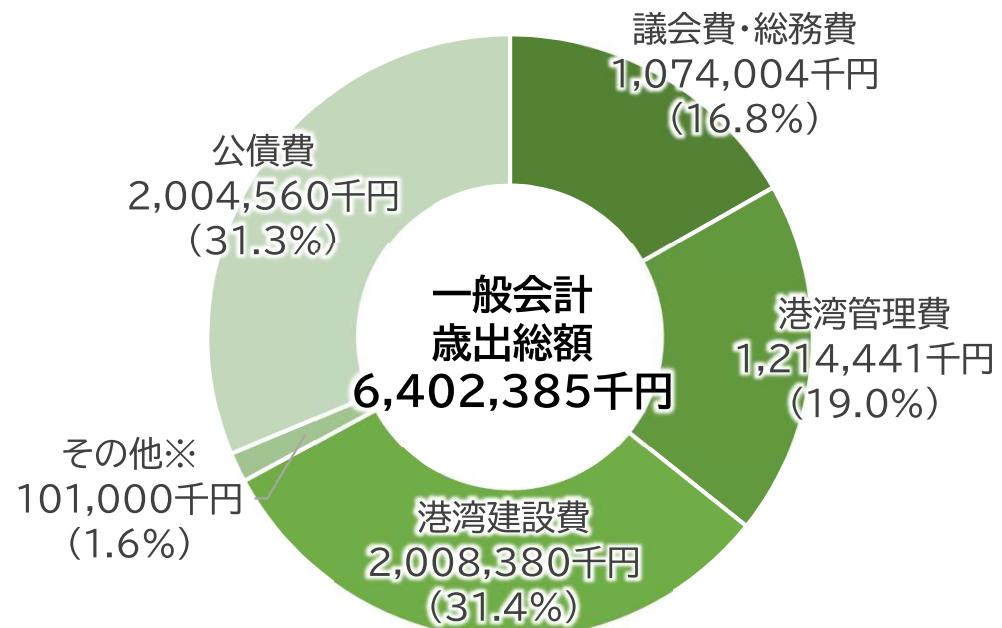
一般会計 歳入



※「その他」の内訳
 県支出金 24,134千円(0.4%)
 貢産収入 10,881千円(0.2%)
 繰入金 28,000千円(0.4%)
 諸収入 32,670千円(0.5%)

(注)割合については、それぞれの科目ごとに四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

一般会計 歳出



※「その他」の内訳
 災害復旧費 100,000千円(1.6%)
 予備費 1,000千円(0.0%)

03 令和6年度当初予算 港湾整備事業特別会計①



【歳入】

(単位:千円、%)

科 目	令和5年度 当初予算額 A	令和6年度 当初予算額 B	増減額 (B-A) C	増減率 C/A
使用料・手数料	1,509,785	1,526,304	16,519	1.1
財 産 収 入	604,154	611,442	7,288	1.2
繰 入 金	329,183	0	△ 329,183	皆減
繰 越 金	20,000	20,000	0	0.0
諸 収 入	36,104	31,179	△ 4,925	△ 13.6
組 合 債	2,400,000	1,062,000	△ 1,338,000	△ 55.8
計	4,899,226	3,250,925	△ 1,648,301	△ 33.6

【歳出】

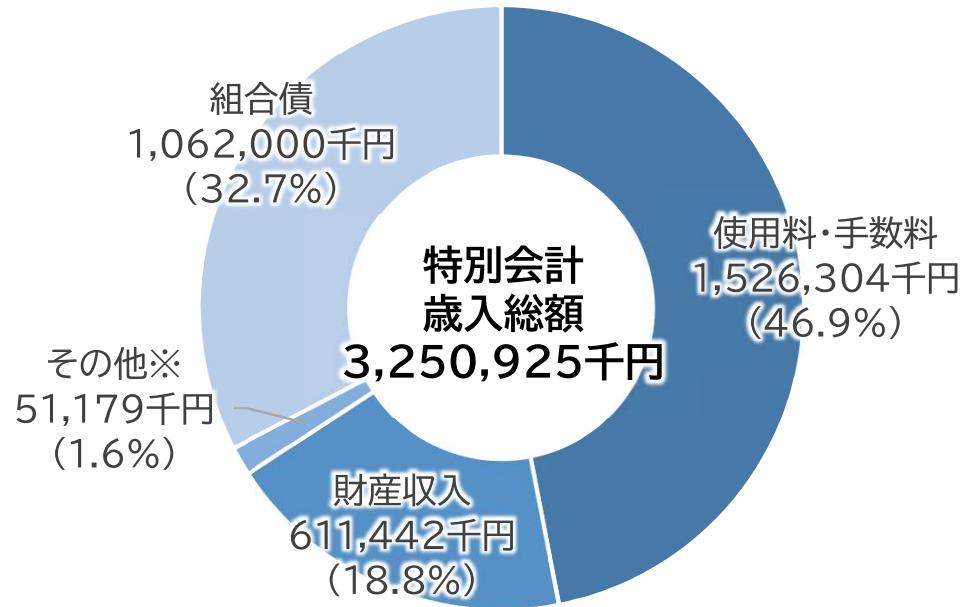
(単位:千円、%)

科 目	令和5年度 当初予算額 A	令和6年度 当初予算額 B	増減額 (B-A) C	増減率 C/A
管 理 費	950,258	1,271,177	320,919	33.8
建設事業費	2,469,600	800,000	△ 1,669,600	△ 67.6
公 債 費	1,479,368	1,179,748	△ 299,620	△ 20.3
計	4,899,226	3,250,925	△ 1,648,301	△ 33.6

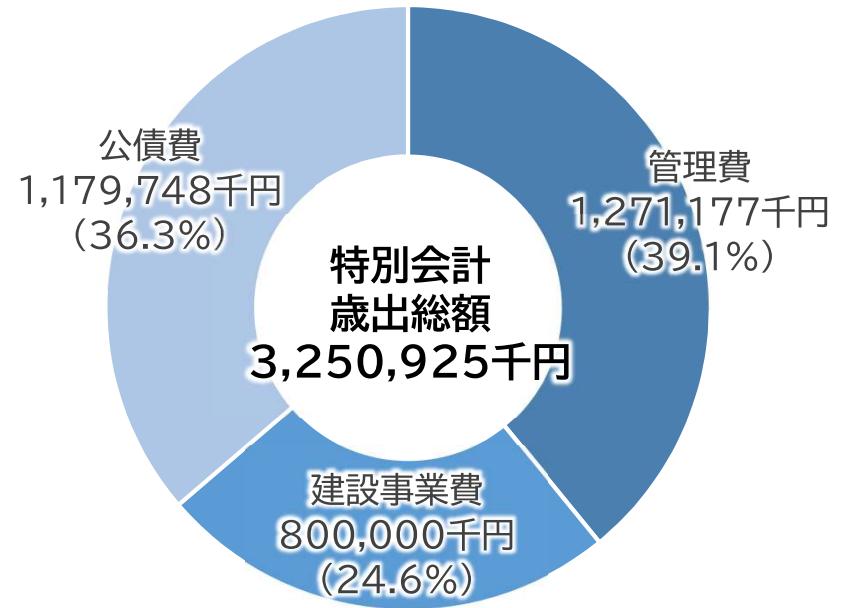
03 令和6年度当初予算 港湾整備事業特別会計②



特別会計 歳入



特別会計 歳出



※「その他」の内訳

繰越金 20,000千円(0.6%)
諸収入 31,179千円(1.0%)

(注)割合については、それぞれの科目ごとに四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

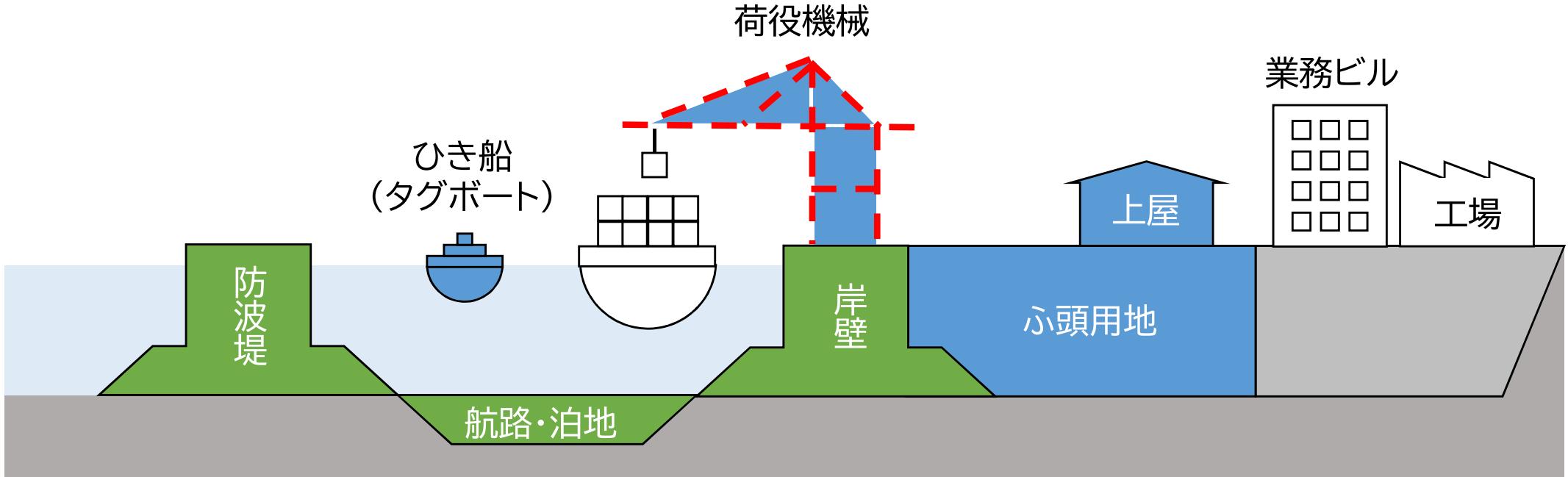
04 令和6年度当初予算 公共事業

(単位:千円、%)

事業区分		令和5年度 当初予算額 A	令和6年度 当初予算額 B	増減額 (B-A) C	増減率 C/A
一般会計	国補事業	[788,030] 788,030	[936,030] 702,030	[148,000] △ 86,000	[18.8] △ 10.9
	単独事業	692,719	1,002,045	309,326	44.7
	国直轄事業	[2,976,000] 1,987,000	[4,099,500] 1,115,500	[1,123,500] △ 871,500	[37.8] △ 43.9
	小計	[4,456,749] 3,467,749	[6,037,575] 2,819,575	[1,580,826] △ 648,174	[35.5] △ 18.7
港湾整備事業 特別会計		2,667,197	943,157	△ 1,724,040	△ 64.6
合計		[7,123,946] 6,134,946	[6,980,732] 3,762,732	[△ 143,214] △ 2,372,214	[△ 2.0] △ 38.7

※[]の額は、前年度の補正予算に計上した国の経済対策分を含めた数値です。

(参考) 一般会計と特別会計の区分(施設別イメージ)



一般会計

: 港湾基本施設(航路・泊地、防波堤、岸壁等)

港湾整備事業※特別会計 : 港湾機能施設(ふ頭用地、上屋、荷役機械、ひき船等)

※港湾整備事業は、港湾基本施設(航路・泊地、防波堤、岸壁等)の整備と一体となり、港湾の機能を効率的に発揮するために必要な港湾機能施設(ふ頭用地、上屋、荷役機械、ひき船等)を整備し、当該施設の使用料を徴収し管理・運営を行う事業をいいます。

(出典)総務省資料を加工して作成